

明るく元気の出る町

平成9年3月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1997 3

NO.504



町イメージキャラクター
「モウ太くん」

凧あげに興ずる

～第20回蔵むらの冬まつりっこ

一頭当たりの平均 価格が四三万円

（昨年と比較、四万九千円の上昇）

子牛市場に見る
今年一年、畜産の行方



▲セリの様子

全県一の黒毛和牛飼育頭数を誇る畜産の町、東由利。畜産の行方を占う今年最初の子牛市場が二月八、九日に本州市広域由利畜産市場で行われました。



▲子牛価格安定を祈願した鏡割り

本町からは八日に九一頭の子牛が上場され、八五頭が成立。一頭当たりの平均価格が四三〇、六九八円と、十二月と比較して二六、六六四円、昨年の初セリと比較すると



▲市場出場した子牛

米の需要と供給を図る

転作目標面積は245.9 ha
 生産調整の趣旨理解を

新食糧法の下で初めての生産調整対策として平成八年度から実施されている「新生産調整推進対策」。二年目にあたる平成九年度の転作目標面積（ガイドライン）として、二百四十五・九haが町に配分されました。

これを受けて町では、一月二十九日に新生産調整推進協議会を開催し、配分率を協議していただき、二十二・二%とすることが決定されました。

これらについては、のちほど農家各戸に通知する予定ですが、この生産調整は、新食糧法における米の需要の均衡を図るための重要な手段として位置付けられています。これまでも農家のみなさんのご理解、ご協力で円滑に進められています。平成八年度は、目標に対して100%の達成をすることができました。

しかしながら、米については依然として潜在的な生産力が需要を大幅に上回っている状況にあり、このような状況の下で、もし生産調整が行われないならば、米の供給過剰による米の価格の大幅な低落を招き、稲作経営に大きな影響を及ぼすこととなります。

このため、米の需要と供給を図る観点から、生産調整を着実に実施していくことが必要ですが、そのためには稲作農家が生産調整に参加することが大切であり、この生産調整の趣旨を理解され、ご協力いただきますようお願いいたします。

『どうする東由利農業』

認定農業者協議会学習会

農業者・農業者が
情報交換



▲学習会で討議

「東由利農業をどうする」をテーマに、二月十五日、認定農業者協議会主催による学習会が朋楽荘で開催され、協議会員ら四十人が参加しました。

会では、町農業士四人がパネラーとなり、パネルディスカッション方式による討議が行われました。

ディスカッションでは個々の経営分析と今後のあり方が話し合われた後、参加者から「今後の農業は個々だけでなく法人的な農業をしていくべき」、「高齢者の生きがい農業が必要」、「沢目の農地を守っていかなければ」などの意見が寄せられ、町の農業を代表する農業士と農業者が町の農業をどう考えているか情報交換しあった実りある学習会でした。

初セリから

町長

町長 阿部 幸悦

日記

由利家畜市場の初セリが二月八日に開かれました。「あきたこまちと由利牛の里」を標榜する我が町にとって緊張する日であります。

昨年は残念ながら秋田県一を誇っています子牛の上場頭数が随分減ってしまいました。平成七年に比べて百三十頭程の減少でありました。子牛価格の低迷、畜産農家の高齢化、就業構造の変化等々、原因ははっきりしていることとありますが残念なことです。しかし販売代金をみますと減頭にこそなりましたが、総額では百万円程しか少なくありません。値段が戻り、平均で四十万円ほどになってきました。

平成四年に、米に先立ち「牛肉の自由化」が図られましたが、自由化とカ

葉たばこ高品質出荷を誓い合う



▲収納状況報告を聞く生産者

二月七日に朋楽荘で葉たばこ収納反省会が開かれました。平成八年度収納状況は、販売総額で一億四千四百三十八万一千円、十アール当たり平均価格が五十三万円でした。なお平成九年度の栽培面積目標は二千九百アールです。

会では「初期生育の遅れが生産乾葉に目立ち、中葉、合葉の一部が急乾紅含みで部分的に未熟になった」など八年度作柄概況及び売り渡し状況の報告が行われました。

葉たばこは米、和牛に続く生産額で一億円を越す主要作物。関係者一同来年の高品質出荷を誓い合いました。

8年度

葉たばこ収納反省会

ウサイクルといわれる五年から七年周期でくる価格の低迷期が丁度一緒になってしまい、価格形成に大きく影響してしまいました。もったいないような子牛が二十万円そこそこで取引されるのを見て私たちは歯軋りしたのであります。

そのうち価格は必ず戻る、その時のためにも優良雌牛は保留しておかなければならない。JA東由利と一緒に保留制度を作りました。

また県有種雄牛だけでは、なかなかいい価格形成にはならないのではないかと、これもJA東由利と一緒に思索し、岩手にある国の種畜場の優良精液を使うことにしました。このことなどが価格の低迷期にも大きな支えになっ

たと評価されております。

全国的にも評価されている優良精液から生まれた子牛が「由利牛の里」を守ることに大きな力になりました。他町からもうらやましがられました。

これは全県一を誇る実績があったからこそ施策できた事であります。大変難しい仕組みを作らなければこの制度も導入できないものでしたが、現場であるJA東由利と飼育農家が協力しあってトラブルのない制度を作り上げてくれました。

頭数を減らしはしましたが、それぞれの立場で懸命に努力しあい「由利牛の里」を守ることができました。

初セリの平均価格が四十万円を越えるのを見ながらしばし思ったことでした。

出稼

◆出稼く収入を得るため
ある期間、別な土地、国
に行つて働くこと。

お元気ですか？ 出稼ぎ者への手紙



たかひろ
八嶋孝宏くん
(八塩小・3年)

じいちゃんかぜをひかないでね！

ぼくは元気だけどじいちゃん
んは元気？。ぼくはスキー教
室でB組に入ったよ!!。ぼく
たちと四年生は、大平スキー
場でスキーを出して、じゅん
びたいそうをしてスキーをは
いたよ。それで第一リフトに
行つて何回もすべった。それ
から第二、第三スキー場に行
つてすべって、第二スキー場
でテストをやった。ぼくの出
番が来たらすぐすべったよ。
曲がりながらすべってつかれ
た。スキー大会はとても、と
ても楽しかったよ!!。
じいちゃんもかぜをひかな
いでね!
◆祖父の信雄さんは兵庫県
でがんばっています。



ともみ
小松朋未さん
(高瀬小・5年)

埼玉では雪など降っていますか？

おじいちゃんはお出稼ぎに行
つてがんばっていますか？。
私は勉強はまあまあだけど体
育やスキーを特にがんばって
います。おじいちゃん、体に
気をつけてお酒をあまり飲ま
ないように気をつけて下さい。
東由利町は毎日雪よせをし
なければいけないくらい雪が
たくさん積もっています。埼
玉では雪など降っていますか
か？。
ひまがあつたら電話などで
埼玉の天気や、おじいちゃん
の体のぐあいなどを教えて下
さい。
仕事をやっている時は事故
などに気をつけてがんばって
ください。
◆祖父の徳一郎さんは埼玉
県でがんばっています。



かおり
小野香織さん
(大琴小・6年)

帰つて来たらしいいろいろな話を

私にとって四月はとても楽し
み。なぜなら中学への進学と、
おじいちゃんおばあちゃんが
出稼ぎから帰つてくるからで
す。
私は、おじいちゃんおばあち
やんがどんな仕事をしている
か分かりません。でも毎日が
がんばっている姿が目にかび
ます。だから、私も残り少な
い小学校生活を楽しみ、がん
ばります。
おじいちゃんおばあちゃん、
帰つて来たらしいいろいろな話を
しましょう。それまでおたが
いがんばろうね!
◆祖父の勇毅さん、祖母の
レイさんが埼玉県で頑張っ
ています。

町の出稼者は日本各地で働いています

年齢別出稼者数

20～29歳	3人
30～39歳	9人
40～49歳	53人
50～59歳	58人
60歳以上	56人
合計	179人



町の出かせぎ者推移表

昭和三十七年	三百二十五人
昭和三十八年	四百五十五人
昭和三十九年	五百七人
昭和四十年	五百五十三人
昭和四十一年	五百九十六人
昭和四十二年	七百十人
昭和四十三年	七百三十五人
昭和四十四年	八百八十九人
昭和四十五年	八百六十九人
昭和四十六年	一千七十四人
昭和四十七年	一千百十人
昭和四十八年	一千五十八人
昭和四十九年	一千六十九人
昭和五十年	九百七人
昭和五十一年	九百十四人
昭和五十二年	七百七十九人
昭和五十三年	七百八十一人
昭和五十四年	七百七十六人
昭和五十五年	七百七十七人
昭和五十六年	七百五十二人
昭和五十七年	七百一十一人

(最高出稼者)

家を守った妻に感謝



長谷山昭一さん
(湯出野)

昭和44～5年くらいから10年程度、東京や名古屋などあちこちで仕事をしました。大阪万博時期には毎日残業でした。当時は農機具を導入するために仕方なく行ったようなところもあります。留守中、牛と家を守った妻に感謝しています。

あの日 あの時

～昭和52年3月1日町報から
No.251



▲当時の紙面から

昭和五十二年二月、「出稼ぎ者短期農業研修」と「就労問題打合せ会」が東京都下で行われ出稼ぎ者の一部、百十人が明治神宮を参拝、期間中の無事と家族の安全を祈願した、と当時の町報にあります。「今日は東京でお酒を飲んでい

るような気がしない。東由利に

にいるような錯覚をする」との声も飛び出したとのこと。また、出稼ぎ留守家族を対象に、出稼ぎ期間中の留守家族間の親交を深めることを目標にした「出かせぎ留守懇談会」が行われ、朋楽荘に三百人が集まり、楽しく意義ある終日になった、とあります。

冬期間やれる施設野菜を…

大琴・佐々木善一郎さん ～うど栽培



◆用語解説◆ 「うど」

日本では北海道から沖縄まで山野に自生するが、分布は朝鮮、中国東北部に及んでいる。「農業全集」(1696)に栽培法の記載があり、「本朝食鑑」(1697)には軟白栽培の記事があるから、徳川中期から一般に利用されたものと思われるが、自生のもは相当古くかた山菜として食用にされてきたのであろう。中国の書にみえるのは、品種も生産方法も日本なのであり、欧米においてはあまり知られておらず、日本特産といえよう。

5月から8月ごろまで旺盛な発育をする多年生の草本で、高さは180～240cmに達する。花は雄同株で上部に両性花を、下部に雄花をつける。開花の始まるのは九月ごろから主枝の成長が止まり、根に養分を蓄積して根の芽が充実するのであるが、この根を軟化にあてて、軟化を食用にする。

寒ウド型は極早生で11月ごろから2月にかけて収穫する。

◆保育社「原色日本野菜図鑑」より

初年度から三年、技術を確立するまでが大変だった、と大琴の佐々木善一郎さん。現在、うど栽培で一冬二〇〇〇キロを収穫するまでになりました。牛を飼っているため冬場働きにいけないことから、冬期間やれることをと、平成二年からうどを始めたということです。

野山のものではなくせ(にがみ)がありますが、栽培したうどはくせがなく若い人にヘルシー食品として親しまれています。また京都の高級料亭などでかなり使われているようです。県内ではJA二ツ井が億単位のうど栽培で有名です。善一郎さんの施設はほとんどが手作り。金をかけないのがモットー。そんな善一郎さんを支える奥さんの花子さんは、「私はもっぱら掘る係です」。

- ① によるもの。
- ② 地元への就労によるもの。
- ③ 町では昨年度より始まった農業集落排水整備事業(下水道事業)への就労が多い。
- ④ 農業就業人口の減少によるもの。
- ⑤ 高齢者の引退によるもの。
- ⑥ 若い層の出稼ぎ離れによるもの。

などが考えられるとされています。しかし、出稼者が減少したとはいえものの、出稼がなくなったわけではありませんし、出稼者、家族たちの悩みが消えたわけではありません。もうすぐ、待望の春が東由利町にもやってきます。まずは体に気をつけて元気な顔で帰ってきてほしいものです。

昭和五十八年	七百十人
昭和五十九年	六百二十人
昭和六十年	五百九十六人
昭和六十一年	五百三十一人
昭和六十二年	四百六十五人
昭和六十三年	四百五十九人
平成元年	四百五十一人
平成二年	四百三十三人
平成三年	三百九十八人
平成四年	三百四十四人
平成五年	二百九十六人
平成六年	二百五十九人
平成七年	百九十七人
平成八年	百七十九人

※互助会加入者台帳その他をもとにしたもの



△奥さんと

祭

り

◆祭り①神霊・祖霊に奉仕して、慰撫したり、祈願したりする儀式②記念や祝いや宣伝のために行うにぎやかな催し



第13回 大平雪まつり

好天に恵まれた大平、 両日で三千人の入り込み

今年十三回目の大平雪まつり。二月一日、二日の両日大平スキー場で行われ、約三千人が各種イベントを楽しみました。初日は雪が降ったり晴れたり、の不安定な空模様でしたが、夜のたいまつ滑走、どんと焼き、花火大会には空も晴れ上がり、光による幻想的な光景がゲレンデに広がっていました。

子供たちによる早喰い大会では、参加者が「熱い熱い」を連発、笑いにあふれた催しでしたが、中には泣きながら最後まで食べた子供もおり、さかんに励ましの声がかけていました。

また、二十歳の若者たちが中心になって製作した雪像には赤々と明かりが灯り、訪れた人たちの目を楽しませていました。

二日目、ほぼ快晴になった会場では、恒例のスキー大会、雪上相撲、雪上ペタンク、イベント参加者を対象にした福引、またボーダークロス大会、雪車レース大会など新イベントも盛り込まれ、子供たちや家族連れが歓声をあげながら東由利町の雪まつりを楽しんでいました。



製作：ベビーブック
[大庭司くん・麻生節雄くん・高橋栄樹くん・工藤福子さん]

優良賞

アンパンマンと遊ぼう！



製作：STEP-UP
[阿部明美さん・畠山広喜くん・小野正志くん]

優秀賞

ぼくらのモウ太くん！



雪像コンテスト結果

雪像コンテストでは、最優秀賞を目指し四組が雪像を製作しました。今回は二十歳前後の参加者が多く、中には製作に一週間の日数をかけたチームもいたようです。

優秀、優良賞各一点、努力賞二点と、残念ながら最優秀賞は該当なしでしたが、雪像は、どれも訪れた子供や家族連れに好評、まつりに彩りを添えていました。



製作：ゆうたくんち
[小野利彦さん・信子さん]

努力賞

大平にいらっしやい



製作：YELLOW-BUSS
[横山亨くん・長谷山広美くん・佐藤幸誠くん・横山和幸くん]

努力賞

ガチャピンと遊ぼう！



国道から 直接見られた祭り

各自治体でも

大平に負けじと、各自治体による祭りが行われました。蔵と舟木地区のまつりを紹介します。

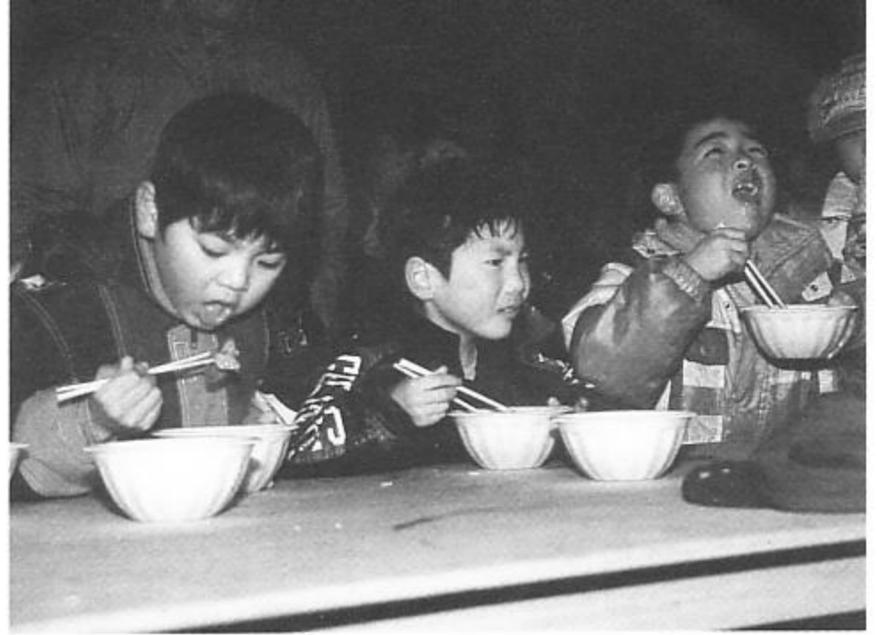


▲出店の様子

舟木地区雪まつり

二月十六日に舟木児童公民館を主会場に舟木地区雪まつりが開催されました。当日は地域住民らが参加、大人たちが作った巨大かまくらを中心に、出店も出、小規模ながらも心がこもった祭りでした。

各地で子供も大人も楽しんだ冬まつり



▲子供たちによる早食い



▲ソリ遊び楽しいナ!



▲ぼくの甘酒の方がおいしいよ!

第20回 蔵むらの冬まつりっこ

地域の触れ合いを深める

大蔵館を主会場に毎年行われている蔵分館(伊東一夫分館長)企画運営の手作りイベント、「蔵むらの冬まつりっこ」。地域の触れ合いを深めながら今回二十回の大台をむ

かえ、例年以上に盛大に催されました。二月九日、快晴の空の元、凧あげや餅つき大会が行われ、家族連れ、子供たちと老人たちが凧あげに興じたのを

始め、各種出店、分館の皆さんの作品展示、紙芝居や玉すだれ、無料のもちや甘酒が振る舞われ、参加者たちは長い冬のひとときを楽しんでいました。



▲恒例の雪上相撲

スキー大会入賞者(敬称略)

- 《小学校低学年・男子》①木島和也(高瀬)②佐々木浩平(大琴)③佐々木健太(永慶保育園)
- 《小学校低学年・女子》①遠藤はるか(高瀬)②佐藤忍(八塩)③工藤由梨(高瀬)
- 《小学校中学年・男子》①長沼敬晴(高瀬)②高橋将也(八塩)
- 《小学校中学年・女子》①鈴木翔子(大琴)②遠藤真祈(高瀬)③小笠原桃子(高瀬)
- 《小学校高学年・男子》①柴田啓(田代)②工藤邦彦(高瀬)③遠藤健光(高瀬)

- 《小学校高学年・女子》①小松るみ子(高瀬)②小松朋未(高瀬)
- 《中学校・男子》①佐野真一②長沼淳③佐藤大輔
- 《高校生/一般・男子》①鈴木寿②佐々木和志③椎名達郎



モウ太くんによるモチつき

運動

◆運動し健康や楽しみのために体を動かすこと。スポーツ。

老若男女、世代を

超えた交流



綱引き

第3回 東由利町スポーツ祭

二月十六日、健康増進センターで行われた綱引き競技。男子の部十六、女子の部五、小学生の部六の二十七チームが参加しました。

冬期間の運動不足の解消を目的にしたこの綱引き、周囲からの声援がかかる中、参加者たちは持てる力を奮って、熱戦を繰り広げました。



始まりの言葉は『ステディ、プル!』

綱引き成績

- 【総合の部】
- ①歳②新町③下通
- 【男子の部】
- ①歳②石高③歳新田A
- 【女子の部】
- ①歳②小倉③岩館
- 【小学生の部】
- ①歳②新町③歳新田

八塩小で雪に親しむ

親子の触れ合いは雪上でのゲームを通じて、と八塩小学校ウインターフェスティバル(雪上運動会)が二月一日、同小グラウンドで行われました。

八塩小児童ら約二百人はソリ競争を始めとした五種類のゲームを中心に雪に親しみ、終始歓声をあげていました。



▲雪に親しむ子供たち

雪上ならではの珍プレー、好プレー

第6回 秋田県選抜 雪上野球大会



▲スライディングする選手

毎年恒例の冬行事、秋田県選抜雪上野球大会が二月二十三日、勤労者野球場で行われました。参加チームは全部で七チーム。大会は今回で六回目、手慣れている選手たちは思いの服装で試合に臨み、雪上ならではの珍プレー、好プレーに歓声をあげていました。参加者は口々に「寒いけれど、やって良かった」「楽しかった」などと話していました。



▲硬式テニスボールを打つ選手

白熱した試合展開

バレーボールリーグ決勝トーナメントが二月二十二日、健康増進センターで行われ東光苑が去年に引き続き二度目の優勝を飾りました。

同大会は、冬期間の運動不足、若者交流をねらいに毎年行われている大会。決勝戦は東光苑とウイングスとの対決。白熱した試合を展開した結果東光苑が優勝しました。



バレー 決勝トーナメント

▲熱戦の模様

◆高齢者と子供の集い◆

お年寄りは昔を懐かしみ、
小学生は試行錯誤しながら楽しむ。

◆ビー玉（ビーはビードロの略）ガラス玉。
◆けん玉、木製の玩具。長さ約二十センチの柄の一端をとがらせ、他端を皿状にえぐり、中ほどに結び付けた糸に、穴をうがった木製の玉をつけたもの。
◆お手玉、小豆などを小さな布袋に入れて縫いくるんだおもちゃ。

◆マシコ、ボール紙などで作った円形または方形のもの。
◆コマ、円い木製の胴に心棒を貫き、これを中心として回転させるもの。

◆あやとり、輪にした糸を左右の手首や指にかけて、あそぶ遊戯。
◆竹とんぼ、竹をプロペラ状に削り、重心部に柄をつけた玩具。



『こうやって遊んだ!』



▲小学生とことぶき大学生の交流

二月十八日に、有鄰館で高齢者と子供の集いが行われ、町内の小学校三年生と、大先輩、ことぶき大学生ら約百七十人が参加しました。最初に石渡力造さん手作りによる紙芝居「むじなのしっぽ」が「トラコ沢のふくじゅそう」が披露されました。引き続きめんこ、おてだまなど、七種類の遊びが準備され、子供たちとお年寄りがそれぞれ楽しみました。この集いはことぶき大学の一年環として昭和五十五年から行われているもの。お年寄りは昔を懐かしみ、小学生は試行錯誤しながら遊んでいました。

交

流

◆交流、文化管轄の異なる系統に属するものが、お互いに行き来し交わること

希望の春に向けて:

冬は活気がなく、沈滞していると比喩的に例えられることがあります。考え方が、

行動一つで充実した時期にすることが出来る季節でもあります。この冬は皆さんにとつてどんな冬だったでしょうか。もうすぐ春がやってきます。

除雪作業ができない高齢者のために、と二月十二日に下郷分校の一、二年の生徒五十四人が、町内の老人世帯九戸を対象に除雪ボランティアを行いました。これは昭和六十二年から行われているものです。小雪が舞い散る中、生徒たちは最初こそ歓声をあげながらでしたが、最後は真剣に黙々と作業をしていました。



▲2メートルもの雪を除去

除雪作業ができない
高齢者のために



下郷分校1、2年生による
除雪ボランティア

真剣に黙々と作業

希望の春までもう少し!!

春から保育園児・小学校児童・中学校生徒です。希望に胸ふくらませる子供たちを紹介します。

大琴小児童、中学校説明に聞き入る

二月十二日に大琴小で中学校説明会が行われました。中学校からは説明に先生方がおとずれ、中学校入学の心構えを説明していました。

児童らは、期待と不安が入り交じった表情で真剣に説明に聞き入っていました。



▲真剣に説明を聞く児童

高瀬小に永慶保育園児が体験入学

二月十七日に永慶保育園児が高瀬小に登校、歌や楽器演奏などを一年児童と一緒に体験。その後「自分の名前をはっきり言う」「毎日一人で起きる」「学校の出来事を話す」と三つの約束を教頭先生とした園児は、四月からの登校が待ち遠しいといったようでした。



▲一年生からのプレゼントを見る園児

永慶保育園に新入園児が体験登園

二月十三日に永慶保育園に新入園児が体験登園しました。この春の新入園児は五歳児一人、四歳児五人、三歳児九人、二歳児一人、一歳児一人の合計十七人です。新園児たちは、おにいさんおねえさんたちと元気に遊んでいました。



▲新入園児の前で歌う保育園児

町を守る消防団の機構改革 消防団機構改革協議会

二月十四日、有鄰館で東由利町消防団機構改革協議会が行われ、関係者ら十余名が出席しました。会では、町長のあいさつ後、定数・ポンプ車・積載車の配置、消防団機構改革案、待遇改善、消防事業の見直しなどが協議されました。消防団は町民の財産を守る大切な組織。出席者らは真剣に議論していました。



▲団長による意見発表

二十年余りの長きにわたり

町建設技能組合ボランティア

子供たちに喜んでもらえたらと、今年も二月七日に町建設技能組合（阿部悟組合長）が、町内の小中学校などの補修や備品の修繕を行いました。これは同組合が二十年余りの長きにわたってボランティアで行っている行事です。

中学校で作業をしていた組合員の一人は「校舎のあちこちに老朽が目立つ。特に戸車が壊れているようだ」と話していました。



▲東由利中学校音楽室の補修作業

秋田ルビコン、若年者定着に大きく貢献

新規学校卒業生雇用優良事業所表彰

二月十八日、秋田県社会福祉会館において、ふるさと定住総合雇用対策推進大会が行われ、席上、秋田ルビコン株式会社が新規学校卒業生雇用優良事業所として表彰されました。県内では四事業所が同表彰を受けました。





地場産業センター愛称募集

形式

①地場産業センターの機能を考慮するとともに、明るく元気なイメージを表現できるもの。

②既存施設（湯楽里・やしお）の愛称も参考にされたいこと。

③形式、字体、字数等は自由。

応募方法

①官製はがき一枚につき三点以内（同一人の応募数に制限はありません）。

②応募者の氏名・住所を明記のこと。

③町内・町外を問いません。

●賞 採用（一点）に記念品を贈呈。

●全応募者に参加賞があります。

●応募先 東由利町役場企画課まで。

●募集締切 平成九年三月十四日（金）

●発表「広報ひがしゆり」紙で発表。

使用権ほか

①採用された愛称の使用権は町に帰属。

②全応募はがきは返却致しません。

③採用愛称に補筆することがあります。

④問い合わせは東由利町役場企画課まで（☎〇一八四―六九―二一四）。



▲提言発表した三氏

ゴミの再利用をどうすすめるのか 第9回婦人シンポジウム

2月23日有鄰館で第9回婦人シンポジウムが行われました。

秋田経済法科大学経済学部教授安保一郎氏を講師に「環境浄化と住民のとりくみ」と題した講演が行われた後、「ゴミの再利用をどうすすめる！」というテーマで三氏からそれぞれの立場による提言発表がありました。出席者にとっては身近な話題だけに真剣に耳を傾けメモを取っていました。

悩みを持つ老人にとっての命綱

ふれあい安心電話システム協力員懇談会

二月十三日、湯楽里で「ふれあい安心電話システム」協力員懇談会が開かれ、関係者ら四十余人が出席しました。

このシステムは県社会福祉協議会が中心になって平成三年十月から開始したもので、全県四十四市町村が加入、二千六百台もの端末機が設置されているものです。一人暮らし老人などが最もさみしいと感じる夜間に、ふれあい相談や病気、けがなどの緊急通報ができることが大きな特徴になっています。

東由利町では昨年四月から十二月まで二十六件の受信があり、その内訳は緊急受信が四件、相談が一件、その他が二十一件というものでした。

協力員の役割は、中央受信センターからの対応依頼により、利用者の状況を確認する「緊急時の状況確認」、定期的な声かけなどの見守りを行い、利用者宅への訪問を通して利用者との信頼関

係を築く「定期訪問」などがあります。

受信の時間帯は行政などによる福祉サービス空白時間帯（休祭日・夜間）に集中しています。「夜寂しくなり話相手がないから人と話したくて・・・」。ふれあい安心電話システムは、こんな悩みを持つ老人にとっての命綱。協力員は仕事の重さを実感しながら真剣に説明に聞き入っていました。



▲説明に聞き入る協力員の方々



▲館合小松歯科医院、小松先生の説明

子供と親が協力しながら克服

みどり保育園歯科保健教室

二月二三日、みどり保育園で歯科保健教室が行われ、虫歯は子供と親が協力しながら克服しようと、歯について勉強しました。最初に館合小松歯科医院の小松義典先生による、スライドを利用した虫歯克服方法の説明があり、その後保健婦らによる虫歯に関する指人形劇が行われました。参加者は改めて虫歯について考えていたようでした。

昭和五十九年二月に誘致企業として設立された同社は、安定した雇用確保に努めるとともに、従業員教育などにも力を入れるなど若年者の県内定着に大きく貢献している企業。明るい職場作り実践、福利厚生充実、六十歳定年制の早期導入、積極的な継続雇用、また障害者雇用にも理解が深いことなどから今回表彰されたものです。

労働行政、夏まつり開催など地域に対しても多大な貢献をしている企業だけに今後の更なる発展が期待されます。

国保だより

国保の保険証が
新しくなります

国民の保険証が平成九年四月一日から新しくなります。

- ◆一般 緑色から青色
- ◆退職 灰色から黄色

三月中に新しい保険証が配布されます。



所得税だより

所得税の確定申告は
正しくお早めに！

平成八年分所得税の確定申告は、三月十七日(月)までです。

期限間近になりますと税務署は大変混雑し、長時間お待ちいただくようなことになりかねません。申告書は自分で書いて、できるだけお早めに郵送で提出してください。

本年も、特別減税が実施されますので適用もれのないよ

町民だより

四月からごみを資源とし
リサイクルする法律が

四月から、いよいよ全国一斉に容器包装リサイクル法が動き出します。これは、ごみ全体の六割近くが商品の容器や包装品であることから、商品を作っている人、ごみを出す人、そして地方自治体が一緒になってそのごみを資源としてリサイクルしていこうとする法律です。

◆ごみの分け方は三種類に

対象となるものは、ペットボトル、ガラスビン、スチール・アルミ製の缶類、紙パック、トレイなどですが、東由利町では、第一段階として、燃えないごみの中のリサイクルできる空き缶類の分別から始めます。そこで、ごみの分け方が、「燃えるごみ」・「空き缶類」・「その他の燃えないごみ」の三種類となります。

「混ぜればごみ・分ければ資源」
限りある資源を大切に
して住みよい町づくり

◆ごみの出し方は

①燃えないごみを出す際には、空き缶類とその他の燃えないごみに仕分けしてお出ください。指定ごみ袋は変わりませんのでそれぞれ燃えないごみの袋に入れていただきます。②ごみ収集日程も変わりますので、ごみの日を確かめて必ず指定日にお出してください。③ごみが分けられていないもの、袋に名前がないもの、指定ごみ袋でないものは収集いたしません。

◆ごみの減量化にご協力を

家庭から出るごみの処理に、町全体で年間二千万円以上のお金がかかっています。生ごみを堆肥化したり、新聞、雑誌、段ボールなどを古紙回収に廻してリサイクルするなど、ごみの減量化、資源のリサイクルを心掛けましょう。また、日頃から、できるだけごみになるものを買わない、使い捨てをしないで再利用方法を考えてみるなどの心構えが大切です。

うにしてください。期限までに申告をしなかったり、誤った申告をしたりしますと、本来の税金だけでなく、加算税や延滞金も納めなければなりません。自分の所得の状況を最もよく知っているのは、納税者の皆さんご自身です。期限内に正しい申告と納税をしましょう。



2歳児健診

() 内は保護者



佐々木穂乃香ちゃん
大琴(直さん)



篠田日向くん
家ノ下(由香さん)



村上 遙くん
宇戸坂(伸さん)



畠山 拓くん
大吹川(誠さん)



小野夏実ちゃん
宿(智行さん)



伊東 茜ちゃん
館西(透さん)



佐々木祐太くん
大琴(興さん)



小松成海ちゃん
宮ノ前(明さん)



工藤優貴ちゃん
山崎(清さん)

径 級	単価/石	備 考
直材30cm上	6,500円	
24~28cm	6,250円	
14~22cm	6,100円	
13 cm 下	3,400円	
曲り材	2,000~3,200円	0.20~0.35石

1月まで完売していた14~22cm材(柱角用)が2月に入り始めて元落ちした。価格的にも下落。これは全県的な傾向である。

産業だより

木材共販市況

(平成九年二月)
45~55年生

町の宝もの

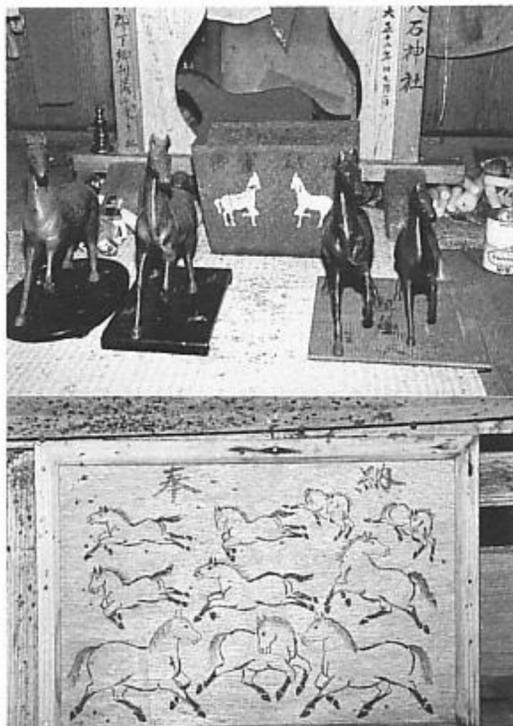
59

大石神社の絵馬 (中ノ沢)

中ノ沢集落東側斜面の途中に、小じんまりとした大石神社があります。

絵馬が十八奉納されており、明治年代が大部分で村外からのものもあり、高さ約三十センチの馬の立像四頭が正面に、そのほか馬につけた大きい鈴や藁沓なども奉納され社殿内に飾られています。

この神社は小石でイボをなでると、イボがとれるご利益があると



ることからイボ神社とも呼ばれ、今でも神前に小石がいっぱいあります。絵馬は祈願や報謝のため神社や寺院に奉納したもので、上代では生きた馬を神に献じた風習が、次第に木馬・土馬・紙馬などで代用され、平安時代の頃から絵に描いた馬に代わったといわれます。

(文・畑山昭一氏)

林業だより

天然広葉樹林②

(先月号の続き)

二、用材林造成に適する林(選定条件)

- ①コナラ、ミヅナラ、クリ、サクラ、ホオノキなどの樹種の多い林。
- ②林の年齢は、ナラ類は三十年から四十年、ブナは四十年から五十年。
- ③将来の伐採対象木は、幹がまっすぐで枝下高が六メートル以上、太い枝や枯れ枝がなく、幹に欠点のない木とし、ヘクタール当たり二百本以上上層に存在し

ている林。

三、広葉樹用材林を育てる注意点

- ①立木の間隔五〜七メートルを基準に、将来残す木を選定する。
- ②樹冠の枝張りを見て、枝と枝がふれないように間伐する。
- ③傾斜地では、残す木の下方の木は伐採しないようにする。(木の傾斜を防ぐ)
- ④中下層木はできるだけ伐採しないで残す。(不定芽を防ぐ)
- ⑤間伐は主伐まで二〜三回実施する。

(町林業懇話会長 佐藤恒悦 氏)



「よく噛むとたまらないものは？」

毎年恒例となった「虫歯予防教室」が園児とその保護者の皆様の参加をいただき、当園で開催されました。

笹本先生からは「歯の健康クイズ」が出題され、その中のユニークで最も印象に残った二問ほどを紹介します。

問一 毎日の食事で大切なことは、「もの」をよく噛んで食べることです。よく噛むとたまらないものはどれでしょう？

A 目屎 B 鼻屎 C 耳屎 D 金屎

よく噛むことにより、色々な利点があることは聞いていましたが、Cの耳

屎(耳あか)が溜まらないという正解が意外でもあり、又、口の中と耳とのつながりを認識させられた一問でした。

問二 三分間歯を磨く時、水道の水を出しっぱなしにするとコップ(百cc) 何杯分に相当するでしょうか？

A 二百 B 三百 C 四百 D 五百

正解はD。日常の何げないふるまいでも数字で表すと驚きです。

このようなクイズ形式をヒントに、幼児向けの健康クイズを考えたら、より楽しく関心をもって子供たちにも受け入れられるのではないかと思います。

もうすぐ、卒園を迎える年長児。給食後すぐ、担任が準備した水時計を鏡の前に置き、懸命に歯磨きをする姿があります。食後の歯磨きが習慣となり、いつの間にか生活リズムの中にとけ込んできているのを感じることがあります。

(永慶保育園 鈴木なな子先生)

虫歯なんてないも〜ん。

3歳児健診

()内は保護者



長谷山 瑛子ちゃん
湯出野 (和幸さん)



伊東 翼ちゃん
蔵新田 (勝宏さん)



阿部 裕貴くん
小倉 (文造さん)



高橋 真那ちゃん
久保 (敬子さん)



小野 咲奈ちゃん
新町 (孝悦さん)



佐藤 淳也くん
蔵 (和広さん)



高橋 葵ちゃん
五海保 (一心さん)



小松 奈央実ちゃん
新町 (与悦さん)

趣味の
サークル紹介
No.10

燿幻会

(陶芸)

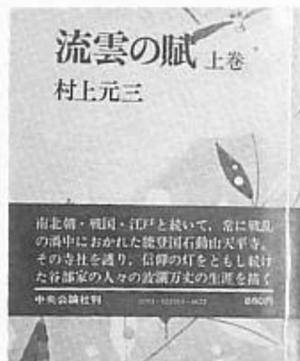
現在ふるさと村工芸展示館で全県野焼を楽しむ集いによる「土器・埴輪・野焼作品展」が開催されています(三月三十日まで)。県内十一団体が集ったこの展示会、本町からは燿幻会(代表・小松幸子さん)が参加しました。代表の小松さんにかがいました。

「主な活動は町産業文化祭展示、年一回全県野焼きの会への参加(平成三、六、七、八年度は東由利町に誘致)、県生涯学習作品展出展などです。会として県展で二人の入賞者を出しています。アトリオンの各町紹介コーナーにも土器を展示しています。

陶芸の根底にあるものは美へのあこがれでしょうか。陶芸というものは面白いもので、製作中無になると、その人の体験したことなどが自然に反映された作品ができるのです。現在会員は男女合わせて九人いますが、今後若い人が入ってくれたらなと思います。世界に一つしかないものを作る、

私
一冊

南北朝、江戸時代と続いている能登国石動山天平寺。その寺社を護ってきた谷部家の波瀾万丈の物語を描いた本。実話を元にしたもので、この作品に登場する天平寺に



流雲の賦
村上元三

つか訪れてみたいと思つています。本は事実を元にした歴史小説などを良く読みます。私が本を読みだしたのは歳をとってからなのですが、もつと若いころから読み始めていたらな、と思います。現在は公民館で管理人をしながら本を読んでいます。好きな本に囲まれての仕事なのだから幸せなのかもしれませんね。



佐藤マサ子さん
(上通)

そんな心の豊かさをあなたも体験してみませんか？」



▲ふるさと村での展示

新着本紹介

今月もたくさんの方が入荷しました。ご利用ください。

- ◆ 社会教育1
- ◆ 太陽二月号
- ◆ 21世紀幼稚園百科⑦
- ◆ ユネスコ世界遺産6
- ◆ 渡辺淳一全集・第13巻
- ◆ 床山と横綱
- ◆ 世界の歴史6
- ◆ 月刊公民館1
- ◆ 社会教育2
- ◆ 日録二十世紀

◎図書館ミニ情報

図書館に自由帳が置かれています。本に関すること、公民館への意見、自分の日常のことなど自由にお書きください。意外な人が書いてあるかも!

東由利の文芸

せせらぎ句会

凍てし実にかケス険しき声たてり	嵯峨 義之(秋田市)
悴む手仕立ておろしの釘穴	小野石路子(上里)
節分の鬼つ子逃げる母の膝	嶽石 レイ(五海保)
寒の明等圧線の混みしまま	小松順之助(中通)
雪催ひ棚にひしめくこけしの瞳	小松 正昭(家ノ下)
雪室のごとき厩で産みおとす	高橋民治郎(舟打場)
吹きやまず人質のごともりおり	大庭喜右エ門(舟木)
杖ついて雪道歩き初参り	小松 徳蔵(湯出野)
節分はせめて自家製鬼の豆	佐藤 正義(湯出野)
「お大事に」出でし医院や春の雪	小松 忠正(下通)
淡雪や夢二ごのみの蛇の目傘	小松 女沙(下小路)
紅白の園児の帽子雪合戦	小松 良子(山崎)
余寒なお通園の子の深帽子	小笠原亮子(蔵新田)
明け放す納屋を逢う瀬と猫の恋	小笠原トミ(蔵新田)
老まじと針持つ日々や寒の明け	小野 貞子(蔵新田)
淡雪や緋衣を湿らす通夜の路	阿部 ナミ(蔵)
素振りして野球少年春を待つ	阿部 澄子(蔵)
淡雪や声あげて待つ納屋の鉢	吉川 葉子(時雨山)
初午や作神賑し郷の宮	菊地 常作(湯出野)
散髪鏡にひらく木花かな	遠藤トミ子(小倉)
まれに着る和服が重し針供養	阿部 俊子(横渡)
淡雪や祈祷の太鼓村覚ます	高橋ヒデ子(横渡)

由利郡大内町新春俳句大会に入選しました。

樋渡瓦風先生の選

特選◆鍋釜の位置定まりて年迎う

館岡誠二先生の選

元朝の卓に赤子の祝箸

高橋秀月(高橋ヒデ子)

アイドルをさがせ!

小松 正也くん (3歳)
(新町)

お父さん 正 義さん
お母さん 真寿美さん



▲こっちを向いて!!

「家にいると落ち着きがない子供です」
好きなものはなんででしょうか?
「TV番組はおかあさんと一緒に見ます。」
ブロック遊びが好きなのですよ。バスなどの車をいつも作っていますね。食べ物ではチョコレートが好物です」
嫌いなものは何でしょうか?
「そうですね、魚が苦手です」
最近困っていることは
「妹(瑞希ちゃん)と物の取り合いをすることです」
将来はどんな人になりたいですか?
「元気であれば良いです」



伊東 賢悟さん
(島・22歳)

由利タイヤ(株)勤務

いつかはレースに

最近凝っている趣味は?
「車カナ。とはいうもののドライブではなく、車の改造。あと工具集め。パソコンもやっている」
結婚して変わったことは?
「金銭感覚が正常に戻ったことカナ」
将来の夢はありますか?
「自分で作っている車で(改造ではなく0から作る)レースに出ること」
実家が農業をやっていますが、一言
「やる人が少ない。若い世代が参加して欲しい」
町に望むことは?

「テーマパーク(遊園地)を作りたい」



最後に両親に一言
「産んでくれてありがとうございます。こんな僕ではありますが、これからもヨロシクね」

個性があって意志の強い人になれば

自分の長所は?
「明るいところかな」
趣味は何?
「趣味と言えるかどうか分かりませんが、買い物とか。よく衝動買いをしてしまいます」
今やりたいことは何ですか?
「ローマに行きたいです。音楽の本場で音楽が聴きたいです」
理想のタイプは?
「芸能人で言うなら反町隆史くんかな。お兄さんタイプで好きなんです」
どんな女性になりたいですか?
「個性があって意志の強い人」
町に望むことはありますか?
「携帯電話が使用できるようにして欲しい」
親にひとことお願いします。
「いつもお世話になっています」



小松佳菜子さん
(下小路・20歳)
自宅待機中

卒業にあたって



下郷分校3年
小笠原美喜さん

高校に入学して三年の月日が流れた。時を長く感じたこともあったが、今思うとあっという間の三年間だった。この間、自分がどれだけ成長したのか、はっきりとはわからない。けれども、学校という場でできなかった貴重な体験を通して自分のプラスになったことは数多くあった。

そんな中で、競歩大会は印象深いもののひとつだ。歩いていて、苦しくなり嫌になってしまふことが何度もあった。翌日にはひどい筋肉痛にも悩まされた。けれども、改めて町の自然の美しさを感じたり、何げない会話をしながら歩く中で、友人の良さを発見したりした。また、我慢強く耐えることも教えられたような気がする。ゴールした時のこの上ない嬉しさと充実感も忘れられない。

この春からは、社会人として新しい生活が始まる。自分の思いどおりにならないこともたくさんあると思うが、これまで感じたり、学んだりしてきたことを思いだし、最後まであきらめず頑張っていきたいと思う。

最後にここまで導き、支えてくださった方々に感謝したい。

童話を



台所で野菜たちと台所用品たちが相談です。悪いねずみがやってきて、仲間のじゃがいもさんをかじっちゃったんです。にんじんも、たまねぎも、やかんも怒っています。良い方法はないものか?。夜、ねずみがまた台所にやってきました。みんながじゃがいもさんを守りましたが、ねずみは強い。とうとうたまねぎさん



ちいさなたまねぎさん
/せなけいこ/金の星社

んまでかじられました...。小さな子供にとって目につくものはすべて珍しいものばかりです。時には物たちに話しかけることも。もしかしたら、子供たちはこれらと話ができるのでは?と思っただけではありませんか?。この物語は周囲にある道具や野菜が感情を持っていたらという話です。現実にはあり得ませんが、もし、こんなことがあったら楽しいですよ。本の紹介・小野邦子さん(宿)

3月→データ東由利

〈1/1~1/31〉

住民基本台帳人口 () は前月比

- 男.....2,613人 (△6)
- 女.....2,755人 (△1)
- 計.....5,368人 (△7)
- 世帯数.....1,403人 (△1)

() は1月からの累計

- ・出生...1人(32) ・死亡...5人(74)
- ・転入...8人(100) ・転出...11人(166)

- 火災出動.....0件 (0)
- 救急出動.....1件 (1)
- 交通事故.....0件 (0)
 - ・死亡.....0件 (0)
 - ・傷者.....1件 (1)
- 飲酒運転.....0件 (0)
- 酒気帯び.....0件 (0)

カレンダー 3月の行事

- 2 下郷分校卒業式
- 6 3月定例議会
- 7 ことぶき大学
- 13 東由利中学校卒業式
- 14 健康大学 (有隣館) 13:30~
- 15 1/2成人式 (大琴小)
- 16 在宅介護者教室(いちよう館)
育苗講習会(朋楽荘)
バスケットボール大会 (健康増進センター)
- 17 八塩小学校卒業式
- 18 大琴小、高瀬小卒業式
- 25 永慶保育園卒園式
献血車来町
- 28 みどり保育園卒園式



カセンソウ (キク科)

文・写真
小松忠正氏

日本全土の比較的日当たりのよい山地や台地(写真大台)に生える多年草で、茎は細くて硬く六十cmぐらいになります。葉は披針形で互生し、柳の葉に似ていて裏面の葉脈がはっきりし、細かい毛があります。七月ごろから咲き出す明るい黄色の美しい頭花は普通一個ですが、時には二個以上咲くこともあるといいます。オグルマの花と色や形がよく似ていますが、オグルマは湿ったところに生えること、葉の形が楕円形なことなどで区別します。和名は歌仙草です。

東由利

郷土の野草

No. 145

戸籍の窓口

●お誕生おめでとう

1/菊池 百花ちゃん(学) 新町

2/小松 レイクン(香織) 田代

3/小松 蒼一朗くん(幸子) 寺田

●ご結婚おめでとう

1/佐藤 英吉さん(石高)

2/阿部 和仁さん(岩館)

3/三浦 敏子さん(本莊市)

●ごめい福をお祈りいたします

1/小野忠治郎さん(69・タミエ・夫) 島

2/佐藤 治さん(45・康一郎・子) 田代

3/阿部 重一さん(66・フヨ・夫) 蔵新田

4/佐藤アサノさん(94・仁吉・義母) 黒淵

5/畑山ミツヨさん(82・一郎・母) 館新田

6/小松ナヲヨさん(87・兵亮・母) 館新田

7/富山 与吉さん(81・キヨ・夫) 上通

8/遠藤 清さん(84・タマ・夫) 蔵新田

9/佐藤 二郎さん(64・タカ・夫) 田代

10/横山 謙蔵さん(90・ミツ・義父) 泡ノ淵

広報クイズ

(モウ太くんをさがせ)

問 町のイメージキャラクター「モウ太くん」。今月はどこにいるかな? (表紙以外のイラスト)

はがきに答え、住所、氏名、年齢、広報へ要望・感想などを書いて東由利町役場広報へ。締切は三月一八日です。抽選で豪華景品を差し上げます。先月号の答えはP12、10でした。鍛崎睦美さん(久保)、大庭清人さん(大琴)、横山光雄さん(静岡県)、鈴木重一さん(舟打場)、清水歩さん(秋田市)が当選しました。おめでとうござります。

まがしゅろ

町社会福祉協議会に小野廣世さん(鳥)、阿部重一郎さん(蔵新田)、小松兵亮さん(館合新田)からご芳志が届けられました。

広報送付の謝礼として長谷山和夫さん(千葉県山武郡在住、地ノ沢出身)、佐藤重一さん(鳥海町在住)から金一封が届きました。

ありがとうございます。

「ほっとくま」ひととき

自分も含め若い世代はうんぬんと言われることが多いですが、まんざらでもないんじゃないかと感じる事が多かった二月でした。

一つ目は若者による雪まつりの雪像製作。仕事を終えた後、毎日寒い中で一生懸命製作していたようです。

二つ目は下郷分校生による除雪ボランティア。授業の一環とは言え、一、二年生が全員参加したという事に感心しました。批判だけすることはたやすいけれど、良い部分を見つけ、育てていく気持ちも欲しいものです。(自戒も含めて) 【さ】